

地域を愛し、地域に根ざした心の教育の推進を

美浜町美浜中学校

1 取組の概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	5回(のべ) 5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	41人
授業ボランティア(含:低ボラ)	56人
登下校支援ボランティア	30人
その他()	0人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

〈地域と連携したボランティア活動〉

美浜中学校1年生では、自ら課題を見つけ、判断し、集団の中で自分の役割に責任をもって行動する力を育成することや、地域の方と共に活動し地域から学ぶ機会を確保することをねらいとしてボランティア体験学習を実施している。生徒が暮らす地区を単位として地区の実情を振り返り、地区のために何ができるのかを考える。一方で、各区長や民生児童委員さんの協力を得て各地区で必要なことを聞き取り、それらを元に活動計画をたてる。地域・学校協議会を経て地区の民生児童委員さんとの打ち合わせ会をもち、計画の修正や変更等を経てボランティアを実行している。活動内容は公園、地下道の清掃、一人暮らしの方の家の除草作業、看板作り、花の苗植え等である。これらの活動を通して生徒たちは改めて自分が暮らす地区について考え、地区の人々との交流によって、人と人とのつながりについても新たな認識が育っている。活動後も民生児童委員さん等の意見を参考に次年度の計画に生かしている。



▶子どもたちの学びと成果・活動の様子



〈地区の民生児童委員さんに宛てた計画書の一部〉

「私はボランティア活動をするにあたり、いつも1人暮らしをされているお年寄りの方や地域の方々が笑顔になれるような活動をしたいと思っています。そのために、当日までにしっかりと準備をして、皆さんが楽しい気持ちになってもらえるように頑張りたいです。うまくいかないこともあるかもしれませんが、よろしくをお願いします。」

▶ボランティア実施後の生徒の感想

準備は大変だったけど、お年寄りの方々の笑顔がとても嬉しかったです。最後に「ありがとう」「楽しかったよ」と声をかけてくださったのでやってよかったなと思いました。民生児童委員さんのおかげで見事成功することができました。たくさんの方々の笑顔を見ることができてよかったです。地域の方々とふれあうことができていい経験になりました。

成果と課題 地域に開かれた学校づくりを推進する上で、地域・学校協議会の役割は実に大きいものがある。このボランティア体験活動の取組については、計画段階から活動まで、地域の方々に様々な関わりをしていただいた。その結果、生徒たちの地域の方々との関わりが深くなるとともに、地域の行事や活動などにも自主的に参加するようになった。これらは、学校、地域・学校協議会、地域等が連携し、地域に根ざした教育を進めてきた大きな成果であると考えられる。このボランティア体験活動の取組は生徒にとって「地域とのつながり」を認識するための大きな意味を持っている。今後、そのつながりをより深められるように、また、活動内容が地域のニーズに見合ったさらに充実したものになるよう工夫・改善を加えていきたい。